

1 徳川綱吉・新井白石の政治

- (1) 5代将軍・(**徳川綱吉**)の頃になると、幕府の政治は文治政治へ転換していった。
- (2) 徳川綱吉は(**朱子学**)を奨励し、湯島に聖堂を開いて武士を教育した。
- (3) 徳川綱吉は、犬に危害を与えた者を処罰する、(**生類憐みの令**)を出した。
- (4) 徳川綱吉の死後、(**新井白石**)は生類憐みの令を廃止した。
- (5) 新井白石の政治は(**正徳の治**)と呼ばれ、物価・財政の安定が図られた。

<ワンポイント解説>

- ... 大名の取り潰し数は、徳川家光までの頃と比べて大幅に減っていった。
- ... 朱子学は儒学の一派。
- ... 徳川綱吉は、生類憐みの令の悪評から、犬公方と呼ばれて嫌われたと言う。
- ... 新井白石は、6代将軍の家宣・7代将軍の家継の下で政治を行った。
- ... 白石は、綱吉時代に悪化した貨幣の質を戻し、長崎貿易での金銀流出を制限した。



【アプリ版のご紹介】中学社会 地理・歴史・公民

中学社会(地理・歴史・公民)の重要基本事項を完全収録。中学の定期テストや高校入試の勉強に、また、高校生やセンター試験対策の基礎固めにオススメのアプリです。



【オマケの一題】

古文・漢文

次の白文の、カッコ内の読み方は？ 春眠「不覚」晧

- (A) おぼふべし (B) おぼえじ (C) おぼえらる (D) おぼえず